

いしい shii-shii しーしー shii-shii

意味

おっしこの音。幼児言葉で、おしっこ(小便)のこと。

しおしお 萎々／悄々 shio-shio

意味

(1) すっかり萎れてしまったようす。 (2) …転じて、気落ちして力がないようすや態度。

用法

「断られて～と帰ってゆく」

・類似：しょぼしょぼ，へなへな，しょうしょう

しおじお 潮々 shio-zio

しかじか 然々 shika-zika

意味

長い説明表現を省略して結果だけを言い表すもので、(結果として)……ということだから。

説明

一般には「かくかくしかじか」(＝“経過”と“結果”を省略した表現)の組み合わせで使われるが、この文語的用語は現代では使用されない。

用法

「かくかく～」

・類似：かくかく，うんぬん，なになに

しくしく shika-shika

意味

(1) しおれて(勢いなく)衰れげに泣くようす。 (2) 刺されるように、絶えず鈍く痛むようす。
(3) 嬉しさにわななく(感情が高揚する)ようす。

用法

(1) 「～と泣く」 (2) 「歯が～痛む」「腹が～する」

・類似：(1) さめざめ，めそめそ，うるうる (2) ちくちく

しくしく 頻々 shika-shika

意味

しきりに。絶え間なく。

・類似：ひんぴん，ちよくちよく

しこしこ shiko-shiko

意味

弾力があって歯応えのある食感。噛むと歯ごたえするようす。

説明

《語源》食感で食材の弾力を「腰」と言うが、「しこ」はその「こし」の逆さ言葉と思われる。

用法

「～麺」「～した歯触りだ」

・類似：こりこり，ぎゅっぎゅっ

しこしこ shiko-shiko

意味

地味なことを続けて行うようす。地味な活動を持続しているようす。

用法

「～練習している」「～とよくやるよ」

・類似：こつこつ

しこしこ shiko-shiko

意味

（尾張地方の方言）物がたくさんあるようす。大きいこと。

しこしこ shiko-shiko

意味

（淡路島地域の方言）わざわざ。せっかく。

しこしこ shiko-shiko

意味

（伊予地方（愛媛県）の方言）さっさと。

しこしこ shiko-shiko

意味

（隠岐地方の方言）元気のよいようす。

しこしこ shiko-shiko

意味

（淡路島地域の方言）わざわざ。せっかく。

しこしこ shiko-shiko

意味

(伊予地方(愛媛県)の方言) さっさと。

しげしげ shiko-shiko

意味

(1) 同じことが何度も起きるようす。頻繁に。 (2) よく見つめるようすや態度。

用法

(1) 「～とやって来る」 (2) 「顔を～と見つめる」

しし 子々 shi-shi

意味

(この語自体に意味はない)

用法

子々孫々 = (「子孫」を強調した言葉で) 子や孫の代まで。代々。

しし 孜々 shi-shi

意味

熱心に努力するようす。

用法

「～としてつとめる」

・類似： こつこつ, じじ

しずしず 静々 shizu-shizu

意味

(1) いかにももの静かに事を運ぶようす。 (2) とても静かなようす。

用法

(1) 「～と進む／歩む」 (2) 「～しとてのどか」

・類似： (1) そろそろ, そろりそろり (2) しとしと

しぜんしぜん 自然自然 shizen-shizen

意味

いつの間にか。

用法

「～に消えてゆく」「～体が動く」

・類似： だんだん

しだいしだい 次第次第 shidai-shidai

意味

やがて。時間の経過とともに。

用法

「～に判ってくる」

・類似： つぎつぎ，だんだん，じょじょ

しとしと shito-shito

意味

(1) 雨などがしめやかに降るようす。 (2) とてもしとやかなようす。

用法

(1) 「雨が～降る」

・類似： (2) しずしず

しなじな 品々 shina-zina

意味

品物がたくさんあるようす。たくさんの商品。

用法

「便利な～」 「～が並んでる」

しばしば 屢 shiba-shiba

意味

(1) 何度も。頻繁に。常に。 (2) わずらわしい。

説明

「屢」の字は当て字とさる。

用法

(1) 「～現れる」「～訪れる」「～頻繁に（頻繁とは同意だが、さらに重ねられることがある）」

・類似： (1) たびたび，さいさい，ちよくちよく

しぶしぶ 渋々 shibu-shibu しぶりしぶり 渋り渋り shiburi-shiburi

意味

気が進まず、しかたなく行ふ（おこなう＝行動する）ようす。いやいやながら。

用法

「～出かける」「～承知する」

・類似： いやいや，ふしょうぶしょう

しましま 縞々 shima-shima

意味

しま (縞＝筋状の文様) がたくさんあるようす。

用法

「～模様」

しまじま 島々 shima-zima

意味

島がたくさん存在しているようす。

用法

「遠くの～」

しみじみ shimi-zimi

意味

(1) 心に深くしみて感じるようす。 (2) 静かに 落ちついたようす。

説明

《語源》しんみり

用法

(1) 「昔を～と偲んだ」「幸せを～噛み締め る」 (2) 「身の上話を～語った」

しめしめ shime-zime

意味

物事が自分の思うとおりになった時に発する語。

説明

《語源》成功した時などの感嘆の「しめた」

用法

「～、うまくいったわい」

しめじめ 湿め湿め shime-zime

意味

湿り潤うようす。 (2) 雨などが絶え間なく降るようす。 (3) ひっそりとしたようす。とてもしめやか。 (4) 深く心を打ち込んだようす。

用法

(2) 「～と降る雨」 (3) 「～と人目がない」

・類似： (2) じめじめ (4) つくづく

しもじも 下々 shimo-zimo

意味

身分の低いもの。

用法

「～の者」

しゃあしゃあ shaa-shaa

意味

水などが勢いよくほとぼしり出るようす。勢いよく流れ落ちるようす。

- ・強度：(勢い) じゃあじゃあ > しゃあしゃあ
- ・類似： じゃあじゃあ

しゃあしゃあ shaa-shaa

意味

あつかましく、羞恥心のないようす。

説明

前に「いけ」を付ける用法がある。

用法

「～と言えるものだ」「よくも、いけ～としておられるものだ」

- ・類似： ぬけぬけ

しゃかしゃか shaka-shaka

意味

物が触れ合って立てる音。

- ・類似： しゃんしゃん, ちゃかちゃか

しゃきしゃき shaki-shaki

意味

(1) 快活な動作や態度、ようす。 (2) 歯切れの良い(新鮮でもある)食感。

用法

(1) 「～と動く」(健康(元気)なニュアンスを持つ) (2) 「～感があっていい」

- ・類似： (1) きびきび, はきはき, しゃんしゃん (2) さくさく

しゃしゃ sha-sha

用法

「しゃしゃりでる」＝でしゃばって出てくる。厚かましく、でしゃばり。

しゃしゃ 洒々 sha-sha

用法

「～落々」＝性格や言動などがさっぱりしていて、こだわりなどが無いようす。

しゃくしゃく 綽々 shaku-shaku

意味

あせらず、ゆっくりと落ち着いているようす。

用法

「余裕～」

しゃなりしゃなり shamari-shamari

意味

気取って歩くようす。上品そうに歩くようす。

用法

「～と歩いている」

しゃぶしゃぶ shabu-shabu

意味

薄切りの牛肉などを熱湯にくぐらせ、たれで食べる料理。

説明

昭和27年頃考案され、洗濯にヒントを得て名前としたようだ。そのため「じゃぶじゃぶ」であるべきところだが、「しゃぶしゃぶ」と称した。

しゃりしゃり shari-shari

意味

やや固くて薄いものが触れ合って立てる音。刃物で細かく刻んだり、小さく砕いたりするとき発する音。

しゃりしゃり shari-shari

意味

口のなかで擦れ合う食感。

用法

「なんだか～している」

しゃんしゃん 上々 shan-shan

意味

しゃんしゃん shan-shan

意味

とても元気なようす。丈夫でよく動き、よく働くようす。

説明

《語源》しゃん(＝背筋を伸ばし、しっかりしているようす)

用法

「～している」「～した女だ」

・類似：ぴんぴん、しゃきしゃき

しゃんしゃん shan-shan

意味

(1) 鈴などの鳴る音。(馬などの首に付けた)鈴の音。(1)手を打つ音。(3)物事が決着した時に手を打って喜ぶ風習(手締め)から、…転じて、その決着したようす。

用法

(3)「～総会」

・類似：(1)しゃかしゃか (3)ちょんちょん

しゅしゅ 種々 shu-shu **しゅじゅ 種々** shu-ju

意味

種類が多いこと。いろいろ。

用法

「～様々」「～雑多」

・類似：いろいろ、さまざま、くさぐさ、かずかず、もろもろ、などなど、るる

しゅうしゅう 習々 shuu-shuu

意味

風がなごやかに吹くようす。

・類似：そよそよ

しゅうしゅう 啾々 shuu-shuu

意味

(1)虫や鳥などが小さく鳴くようす。(2)人が力なく泣くようす。

用法

「鬼哭～」＝鬼気迫って物凄いこと。

・類似：(2)しくしく

しゅるしゅる shuru-shuru

意味

花火やロケットの打ち上げの音。

しゅんしゅん 蠢々 shun-shun

意味

(1) 虫がうごめくようす。 (2) 動きが乱れるようす。 (3) 無礼なようす。 (4) 無知で鈍いようす。

しよしよ 所々／処々 sho-sho

意味

さまざまな場所。あちこち。ここかしこ。

説明

「諸所」や「諸処」と同意。

- ・ 連結：「～方々」
- ・ 類似：ところどころ，ほうぼう

しょうしょう 少々 shou-shou

意味

数量や程度が少ないこと。少し。ちょっと。

説明

一般に重畳語では強調の用法が多いが、「少々」にはその傾向はあまりない。そのため「とても少ない」ということではなく、単に「少し」とか「やや少なめ」程度の意味。

用法

「～の違いはある」「お塩～」「～ものを尋ねるが」

しょうしょう 悄悄 shou-shou

意味

(1) とても憂えるようす。意気消沈のようす。 (2) 憂え恨むようす。 (2) 静かなようす。寂しいようす。

用法

- ・ 類似：(1) しおしお

しょうしょう 蕭々 shou-shou

意味

もの寂しく風が吹いたり、雨が降ったりするようす。

用法

「～と降る秋の雨」

しょうじょう 生々 shou-jou

用法

「生々流転」＝万物が変化してきわまりないこと。「生々世々」＝(仏教で)生まれかわり、死にかわりして世を経ること。…転じて、(現世も後世も)いつまでも。

しょうじょう 猩々 shou-jou

意味

(1) オランウータン。(2) 中国での想像上の動物。体は猿で顔は人間に似て酒を好むとされる。(3) …転じて、大酒飲み。

しょぼしょぼ shobo-shobo

意味

(1) 雨などがしとしと降るようす。(2) 目がとてもしょぼついているようす。泣いたり、疲れたり、老いたりして元気のない目の症状。涙目になったり、かすんだりする状態。(2) 元気がなくしょんぼりしているようす。

説明

《語源》しょぼつく、しょんぼり

用法

(1) 「雨が～降っている」 (2) 「徹夜して目が～する」 (3) 「～と歩いている」

・類似：(1) しとしと (2) しおしお、へなへな (3) とぼとぼ

しらじら 白々 shira-zira

意味

(1) いかにも白いようす。夜が次第に明けて白らむ(明るくなってゆく)ようす。(2) あからさまなこと。(3) 白けて(興ざめして)いるようす。

用法

(1) 「～と夜が明けてきた」「～明け」 (3) 「～とした気持ち」

しらじら - しい 白々しい shira-zira-shii

意味

(1) いかにも白く見える。白っぽい。(2) る。興ざめ。味気ない。(3) しらを切る。しらばくれている。(裏の気持ちが)見え透いている。

用法

(2) 「～ことばかり言う」「～態度だ」 (3) 「～お世辞を言う」

・類似：(3) そらぞら

しらずしらず 知らず知らず shirazu-shirazu

意味

知らない間に。いつの間にか。

用法

「～にやってしまった」「～の間に溜まっていた」

しろじろ 白々 shiro-ziro

意味

とても白いようす。白さが目立つようす。

しわしわ shiwa-shiwa

意味

皺だらけ。しわがいっぱい

用法

「～のズボンを履いている」

・対語： ぱりぱり

しんしん 津々 shin-shin

意味

絶えず盛んに湧き出るようす。

用法

「興味～」＝興味が尽きないようす。

しんしん 振々 shin-shin

意味

(1) ものごとが盛んなようす。 (2) 仁愛や信義の厚いようす。 (3) 鳥などが群がって飛ぶようす。

しんしん 深々／沈々 shin-shin

意味

(1) 夜が静かに深くふけてゆくようす。 (2) 静まりかえったようす。 (3) 入り込んで奥深いようす。深くのめり込んでゆくようす。 (4) 寒気が身に沁みるようす。

用法

(1) 「夜が～とふけてゆく」 (2) 「～と雪が降り積もる」 (4) 「寒さが～と身に堪える」

・類似： (3) ふかぶか

しんしん 森々 shin-shin

意味

(1) 森がとても深いようす。樹木が並び繁っているようす。樹木が高くそびえているようす。
(2) 人物に威厳があり、奥深く重みがあるようす。

用法

(1) 「～と生い茂る木」「～たる杉木立」

しんしん 藎々 shin-shin

意味

(1) 草木の葉が盛んに茂るようす。 (2) 積り集まるようす。 (3) 女性が頭に飾りをつけるようす。

しんしん 駢々 shin-shin

意味

(1) 馬がとても速く走るようす。 (2) ものごとが速く進むようす。 (3) 時が速く過ぎ行くようす。

用法

(2) 「～たる進歩」 (3) 「歳月～たり」